

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的に応じて、文章と図表を結びつけるなどして必要な情報を見つけることができている。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。
- 漢字を文の中で使うことや、日常よく使われる敬語の理解に課題がある。

【算 数】

- () を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ったり、分配法則を用いて答えを求めたりするなど、数と計算領域の理解がよくできている。
- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取るなど、変化と関係領域の理解がよくできている。
- 底辺や高さなど図形を構成する要素などに着目して、面積の大小を判断することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 授業で学んだことを、他の学習で生かすことができている。
- 自分で課題を立て、情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組むことができている。
- 学校の授業時間外に読書をする時間が少ないことや、新聞を読んでいる児童が少ないことに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の重点單元における少人数指導の実施
- ・毎日表現する場面を位置づけた全校での授業改善の推進
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容をピックアップした復習プリントの作成と実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・様々な教科・領域等における双方向の意見交流を位置づけた授業づくり
- ・国語・算数タイムの取組成果の検証、改善

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・目的意識や必然性を大切にされた授業づくりの推進
- ・情報を集めて整理し調べたことを発表したり、各教科・領域等での学びを活用したりする場を位置づけた総合的な学習の時間の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・1人1台タブレットを活用した個別最適な学習の実施
- ・すきま時間等を活用した読書の時間の設定